

# 千姫 (1954)

メディア 映画

ジャンル 時代劇

製作国 日本

色彩 Color

時間 95分

初公開日 1954/10/20

## 【解説】

八尋不二の脚本を木村恵吾が監督した時代劇大作。京マチ子が戦国時代の悲劇のヒロインの千姫を演じた。色彩技術が高い評価を得た大映はこの作品以降、イーストマン・カラーを「大映カラー」と称した。

大阪夏の陣で豊臣家は滅びたが、秀頼の妻である千姫だけは奇跡的に生き残ることができた。千姫を救った坂崎出羽守は彼女を手に入れようとしていたが、千姫はこれを拒否。千姫の祖父である徳川家康は出羽守に領地を与え、千姫を本多平八郎に嫁がせることにした。千姫の輿入れの行列に斬り込もうとして失敗した出羽守は、自らの槍で自決。千姫は平八郎との婚礼を迎えようとするが、平八郎が病気で亡くなってしまった。千姫は吉田御殿に美しい小姓たちを置き、毎日遊興の限りを尽くすようになってしまう。

## 【クレジット】

監督 木村恵吾

製作 永田雅一 [製作]

脚本 八尋不二

撮影 杉山公平

音楽 早坂文雄

出演 京マチ子

菅原謙二

市川雷蔵

三田隆

山形勲

進藤英太郎

伊志井寛

峰幸子

東山千栄子

大河内伝次郎

南條新太郎

杉山昌三九

石黒達也

花柳武治

小町瑠美子

毛利菊枝

尾上栄五郎